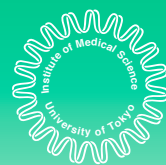


医科研病院だより



第26号

発行：東京大学医科学研究所附属病院
平成27年1月15日
〒108-8639 東京都港区白金4-6-1
代表電話03-3443-8111
ホームページ <http://www.transrec.jp/>

CONTENTS

新年のご挨拶	1
すこやか・カフェ	2
栄養サブリ	3
なんでも・ひろば	4

新年のご挨拶

病院長 小澤 敬也

明けましておめでとうございます。

皆様にとって、また医科研病院にとって、2015年が素晴らしい年になることを心より願っております。

昨年は、いろいろと大きな変化のある年でした。私が新病院長として赴任し、トランスレーショナル・リサーチ (TR) を推進するプロジェクト病院として、遺伝子治療や細胞治療により積極的に力を入れていく方向性を打ち出しました。医科研に遺伝子・細胞治療センター (CGCT: Center for Gene & Cell Therapy) を新規に立ち上げ、そのキックオフ・シンポジウムを昨年11月21日に開催致しました。今年、がんや難治性疾患に対する新しい臨床試験の実施に向けて、精力的に取り組んでいく計画です。

また、昨年12月には4病棟体制から3病棟体制に移行しました。これは病棟運営をより機能的かつ効率的にする狙いがあり、5階のフロアを有効活用して、医科研病院を(↗)

(↘)さらに活性化していきたいと考えております。入院などで御不便をおかけすることもあるかと存じますが、御理解をいただきたく、宜しくお願い申し上げます。

今年、医科研1号館の中央部分と西ウイングの耐震工事も予定されており、病院棟もその影響を受ける可能性があります。やはり一時的に御不便をおかけすることがあるかと思いますが、御了承いただければ幸いに存じます。

医科研病院の理念 (全人的医療の実践、倫理性・科学性・安全性に基づいた革新的治療法の開発、患者の権利の尊重) を常に心がけ、医科研病院がさらに発展するように、病院スタッフ一同が今年も力を合わせて行きたいと思っております。



トピックス

◆ 昨年12月10日に、恒例のクリスマスコンサートが病院棟8階のトミーホールにおいて開催されました。今年も聖心女子学院のみなさんがご協力くださいました。中高等科の有志の生徒さん達によるオーケストラ演奏や手話コーラスやダンスや合唱、また聖心女子学院OGでヴァイオリンニストの先生も加わったヴァイオリン二重奏など、盛りだくさんの内容でクリスマスを彩ってくださいました。



◆ 昨年12月19日に、病院棟8階トミーホールにおいてNHK交響楽団のご厚意により「N響室内楽コンサート」が開催されました。昨年に引き続きN響から山口裕之さん (ヴァイオリン)、宇根京子さん (ヴァイオリン)、藤村俊介さん (チェロ)、飛澤浩人さん (ヴィオラ) の4名がおいでくださり、素晴らしい演奏を披露してくださいました。



すこやか・カフェ



「遺伝カウンセリング外来」の御紹介

ゲノム診療部 古川 洋一

医科研病院には、一般病院にはほとんどない特殊な外来があります。そのひとつが「遺伝カウンセリング外来」です。カウンセリングというのは相談内容を聞いて質問に答えるだけでなく、受診者の状況に応じた医療情報や精神的サポートを提供する仕事です。我々のカウンセリングでは、専門の医師、看護師、それに臨床心理士と一緒に相談者のお話をお聞きし、より良い選択をするためのお手伝いをしています。平成14年（2002年）に開設され、これまでに100人以上の方々のカウンセリングを行ってきました。最近では、年間20人以上、回数では40回以上のカウンセ（✓）



（✓）リングを行っています。両親やきょうだいに遺伝が疑われる病気が発症したり、家系内にがんの患者さんが多くいたりするなど、ご本人が病気ではないけれど、病気についての不安をもっていらっしゃる方のカウンセリングがほとんどです。例えば、ハリウッド女優のアンジェリーナ・ジョリーさんのような遺伝性のがんの相談や、神経の病気、筋肉や骨の病気、視覚や聴覚の病気など、様々な病気に関する遺伝の相談があります。また、いとこ同士の結婚などこれから結婚されようとするカップルや、子供をもうけるに際して心配をされている御夫婦などの相談もあります。受診される方の多くは、どここの外来を受診していいのかかわからず、インターネットなどを調べて我々の遺伝カウンセリング外来を見つけられています。また一般のお医者さんからの紹介もあります。（✓）



（✓） 当院には小児科や神経内科はありませんが、他院の専門家をお招きしていろいろなご相談に対応できるようにしています。また本郷の東大病院を始め、様々な遺伝専門家との連携を行っており、必要に応じて他院を御紹介することもあります。遺伝性のがんの場合は、たとえ遺伝的なリスクが高くても、病気の早期発見により、がんで死亡することを回避することができます。医科研病院ではがん早期発見の為に検診プログラムを行っており、家族性がんのリスクが高い方々に検診や早期治療を提供しています。

さらに我々のカウンセリング外来は、当院の遺伝子検査室や遺伝子検査を提供する企業・研究室との連携も図っており、様々な遺伝子検査が実施可能です。しかしながら、遺伝子検査を受けたいという方には、それぞれの遺伝子検査でどのようなことが分かるのか、その検査を受けるメリットは何なのか、あるいは受けることによるデメリットなどをお伝えし、十分に考えて納得して遺伝子検査を受けるようにしていただいています。

様々な遺伝に関するご相談に対応しておりますので、もしご心配やお悩みがある方がおられましたら、まずはお電話でご連絡ください。ただし妊娠中の胎児の御相談など、一部お引き受けできないものもあります。カウンセリングは完全予約制で、お電話で予約を受け付けております。

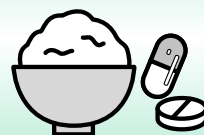
遺伝カウンセリングの電話予約番号

03-5449-5488（直通）

（月曜と水曜の午後2時から午後5時にお電話いただけますようお願い致します。）



栄養サプリ



ビタミンシリーズ第四弾

知って得する！ビタミンEの豆知識

ビタミンEはどんな働きをするの？



1日にとりたいビタミンEの目安量(18歳以上)

・男性: 6.5mg/日 ・女性: 6.0mg/日

実際にとっている量

・男性: 6.2~6.8mg/日 ・女性: 5.5~6.6mg/日

(参考資料) 日本人の食事摂取基準(2015年版)
平成22・23年国民健康・栄養調査結果

ビタミンEの過不足

不足すると→ ・感覚障害
・神経障害

過剰にとると→ ・出血傾向
になる

きちんと食事をすれば
ビタミンEは過不足なく
とれますが、実際には
少し不足している人もい
るようです。あなたはど
うでしょう？

絶品♪おすすめ料理

ビタミンEを多く含む食品



かぼちゃと人参のおかゆ

かぼちゃの甘みで、ほっこり優しい
おかゆです。

(材料・2人分)

ごはん……………1杯分200g
玉葱(みじん切り)……………小1/2個
オリーブオイル……………小さじ1
塩……………ふたつまみ
かぼちゃ(皮を除きみじん切り)……………1/6個
人参(みじん切り)……………1/2本
くるみ(細かくくだく)……………4粒
白味噌……………大さじ2

- ①鍋にオリーブオイルを熱し、玉葱と塩を入れてしんなりするまで炒める。
- ②かぼちゃ、人参、くるみを加え炒める。全体に油がまわってきたら水(3カップくらい)を加える。
- ③煮立ったらアクを取り、野菜が柔らかくなるまで煮る。
- ④ご飯を加え、もったりしてきたら白味噌を加えて出来上がり！

※コンソメ顆粒やカレー粉などで味を変えてみるのも良いかもしれません♪

アジのアーモンドフライ

アーモンドスライスの香ばしさと、
サクとした食感がたまりません。

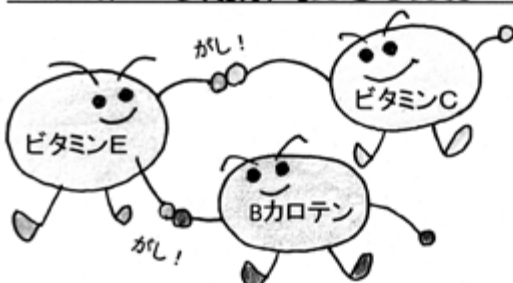
(材料・2人分)

アジ(3枚おろし)……………2尾
塩・こしょう・白ワイン(下味用)各少々
小麦粉……………1/4カップ
溶き卵……………1個
パン粉……………1/2カップ
青のり粉……………大さじ1/2
アーモンドスライス……………40g
揚げ油……………適量
(a)塩・こしょう・レモン……………適量

- ①アジは小骨を除き、軽く塩・こしょう・白ワインをふってしばらく置く。
- ②アジに小麦粉、溶き卵、パン粉(青のり粉とアーモンドスライスを混ぜたもの)を順に付け、170℃の油で揚げる。
- ③(a)をお好みでかけて召し上がれ！

※ソースやタルタルソースなどをかけて食べても美味しいですよ♪

ビタミンEを効果的にとるには？



ビタミンEと一緒に、抗酸化作用のあるビタミンCやβカロテン(緑黄色野菜に多く含まれます)と一緒にとることで、老化の原因である活性酸素から、体を守ります。ただし、ビタミンEを豊富に含む食品は、脂肪分も多く含むものもあるため、取り過ぎには注意が必要です。

簡単！もう一品 カボチャのアーモンド焼き

(材料・2人分)

かぼちゃ(スライス)……………1/8個
オリーブオイル……………適量
塩……………ふたつまみ
アーモンドスライス……………10g
パセリ粉……………適量

- ①フライパンに適量のオリーブオイルをひいて、かぼちゃを両面こんがり焼いたら塩をふって皿に盛り付ける。
- ②空いたフライパンにアーモンドスライスを入れ、カリッとなるまで焼く。
- ③色が付き始めたら皿に盛ったかぼちゃの上にかけて、パセリをふる。



臨床研究、臨床試験、治験とは？

TR・治験センター長 長村 文孝

いつも医科研病院だよりをご愛読いただきありがとうございます。「すこやか・カフェ」では当院で行っている医療や対象とする疾患に加えて新たに始まる臨床試験についても取り上げています。ところで、医療開発を使命とする病院ですので、研究用の追加採血のお願いをされたことがないでしょうか。12月18日には新たに脳腫瘍（膠芽腫）に対して医師主導治験を開始する記者会見も行われています。このような資料のなかでは「臨床研究」、「臨床試験」、「治験」という言葉が使われます。これらの違いはおわかりですか？医療関係者でも間違っている場合もあります。

治験は、厚生労働省からの製造販売の承認を得るために医薬品医療機器法（今までの「薬事法」が「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」という長い名前に改正されました。「薬機法」とも呼ばれます。）に基づき実施されます。製薬企業あるいは医師・歯科医師が実施主体です。医師・歯科医師が実施主体となる治験は「医師主導治験」と呼ばれ、自分達が開発した新規医療を対象とする場合承認薬の適応症を拡大する場合に大別されます。

臨床試験は、薬や医療機器など人に対して影響のあるものを試す試験で、「治験」も含まれる場合があります。試(ノ)

(ノ) 験前に計画が立案され、審査委員会での承認が得られています。「治験」ではない遺伝子治療と再生医療はそれぞれ関連した法律または指針に基づいて行われます。その他の臨床試験は新たに制定される「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて行われます。

臨床研究は、カルテの情報、血液や尿の解析等人間を対象とした研究を全て含み、臨床試験も含まれます。ただ、遺伝子治療と再生医療では「臨床研究」と呼ばれる場合があります。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」あるいは「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に従って行われます。

今回は、少し難しい話となりましたが、皆さんに研究に参加していただく場合には、上記の法律や指針に基づいて行われます。主治医から参加について説明があった際には、上記のような背景があるのだなと思い出していただければ幸いです。



◆病院からのお知らせ◆

●臨床検体の取扱いにつきまして

当院での保存・追加採取検体を用いた臨床研究名をお知りになりたい方は

http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/ore/IMSUT_ORE_7.html をご覧ください。

東京大学医科学研究所附属病院・ご利用案内

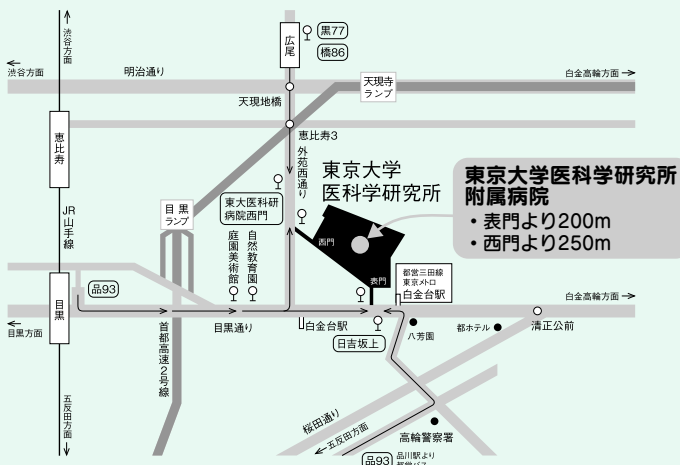
診療科

内科（総合、血液腫瘍、感染症、アレルギー・免疫、代謝・内分泌、循環器、消化器）

小児科（小児細胞移植）

外科（一般、腫瘍、消化器、乳腺）、整形外科（関節）

脳腫瘍外科、放射線科、麻酔科、遺伝相談



外来診療日

月曜日～金曜日（祝日および年末年始を除く）

診療受付時間

8：30～11：30（初診・再診）

12：30～16：00（再診のみ）

※予約時間の15分前までに受付にお越しください。

（確実にご受診いただくために、ぜひ予約をお取りください）

予約専用電話（予約受付および変更）

診察：03-5449-5560

検査：03-5449-5355

受付時間 8：30～17：00（外来診療日のみ）

アクセス

- 東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線で「白金台駅」下車
 - JR 山手線目黒駅東口から都バス品93大井町競馬場行で「白金台駅」下車、あるいは都バス黒77千駄ヶ谷行か橋86新橋駅行で「東大医科研西門」下車、または駅より歩いて約15分、タクシーで約5分（1メートル）
 - JR 品川駅から都バス品93目黒駅行で「白金台駅」下車
 - 東京メトロ日比谷線広尾駅から都バス広尾橋から黒77または橋86目黒駅行で「東大医科研病院西門」下車
- ※患者専用駐車スペースも数台分ございます。ご利用は受付にお申し出ください。